

2011 年度事業報告並びに収支決算報告

公益財団法人阿蘇グリーンストック

I. 2011 年度事業報告

2011 年度取り組んできた各事業及び活動の様子について、公益財団の事業分類に沿ってご報告します。

1、自然保全事業（公1）

(1) 阿蘇草原再生協議会及び同千年委員会と連携・協力し、阿蘇草原再生募金の取り組み及び草原保全活動の普及・啓発に取り組んできました。

1) 2012 年 3 月末現在での募金額合計 45,275,626 円
(2013 年 3 月末迄の募金見込み額 約 6,100 万円)

2) 阿蘇草原再生フォーラム 2011Part1、Part2 の開催

・ Part 1 「阿蘇の草原を未来へつ・な・ぐ集い」 10 月 26 日開催

参加者 約 170 名

内容 別冊報告集をご覧ください。

・ Part 2 「草原再生の体験学習と意見交換会」 11 月 12 日開催

参加者 約 110 名

内容 かつての草原が雑木林にまっけてしまっている約 20ha を雑木を伐採し、元の草原に復元するための輪地切り（防火帯づくり）体験活動
詳細は報告チラシをご覧ください。

3) 募金による助成事業の実施（グリーンストックが事務局を担当）

第 1 弾助成（2011 年 9 月～2012 年 3 月） - - 総額 1,147 万円

あか牛導入助成、草原再生事業支援（野焼き再開）、野焼き支援ボランティア運営支援、草小積み展示、学校給食へのあか牛肉提供他

第 2 弾助成（2012 年 4 月～2013 年 3 月） - - 総額 1,350 万円

あか牛導入助成、草原再生事業（2 件）、野焼き支援ボランティア運営支援、環境教育プログラム開発、昆虫生育調査その他計 16 事業

(2) 野焼き・輪地切り支援活動の実施

1) 輪地切り支援活動

2011 年 8 月 28 日～2012 年 3 月 3 日

計 56 ヶ所 ボランティア参加人数延べ 1,298 名

- 2) 野焼き支援活動
2012年2月11日～4月中旬
計 ヶ所 ボランティア参加者人数延べ1,009名
- (3) 水源涵養の森づくり（広葉樹植林地の下草刈）活動の実施
- | | | | | |
|------|--------------|-------|-----|------|
| 1) 秋 | 3ヶ所 | 約13ha | 参加者 | 292名 |
| 2) 春 | 1ヶ所(富士ゼロックス) | 約2ha | 参加者 | 139名 |
- (4) 緊急雇用創出基金事業（草原再生募金支援事業の運営に係る検討業務）を受けての草原再生募金支援事業の運営に係る検討業務
熊本県の平成23年度の緊急雇用創出基金事業（総額586万円）により、2名の臨時職員を雇用し、草原再生募金支援事業に取り組みました。
- ・ 草原再生募金の入出金管理業務
 - ・ // 支援事業の内容検討、企画調整業務
 - ・ 草原再生千年委員会に関する連絡調整業務その他
- (5) 県の新しい公共支援事業（阿蘇の草原を守り継ぐ活動支援事業）を受けての取り組み
熊本県から総額530万円の新しい公共支援事業による委託を受けて、今年度下記のような事業を実施しました。
- ・ 地元後継者育成の方策検討
 - ・ 野焼き支援ボランティア増員のための広報等の強化
 - ・ 野焼き技術の伝承
阿蘇市50牧野の野焼き・輪地切り作業マニュアル航空写真図の作成
ボランティアリーダー手帳の作成
 - ・ 財団の基盤強化の取り組み - - ホームページ作成技術の修得
- (6) 普及・啓発活動の取り組み
- ・ 草原だより49号、50号、51号の発行
 - ・ 財団ホームページのリニューアル
 - ・ 公益財団の新しいパンフレットの作成 - - - 2012年度に持ち越し

単位 円

自然保全事業(公1)	予算額	決算額	差額
初心者研修会参加費収入	300,000	600,650	300,650
機関紙購読収入	220,000	214,200	-5,800
講演等収入	600,000	195,079	-404,921
もやいすと輪地切り作業指導収入	600,000	598,500	-1,500
下草刈活動指導収入	750,000	555,750	-194,250
〃 参加費収入	650,000	765,700	115,700
新しい公共支援事業収入	5,319,000	5,300,000	-19,000
緊急雇用創出基金事業収入	5,310,000	5,865,300	555,300
その他(フォーラムの運営等)	131,000	1,280,688	1,149,688
事業収益合計	13,880,000	15,375,867	1,495,867

受け取り補助金	予算額	決算額	
都市・農村交流支援助成金	1,800,000	1,845,300	45,300
造林助成金	1,150,000	928,980	-221,020
草原再生募金助成金	3,500,000	3,500,000	0
九州グリーン電力基金助成金	1,450,000	0	公益共通で計上
その他(ユネスコ未来遺産基金等)	300,000	713,010	413,010
合計	8,200,000	6,987,290	-1,212,710
雑収入			
募金事務局収入	4,000,000	4,000,000	0
その他	0	71,070	71,070
合計	4,000,000	4,071,070	71,070

2、自然体験・農業体験学習事業(公2)

(1) 修学旅行生の農村民泊及び農業体験受け入れ事業

今年度は、阿蘇市及び南小国町、南阿蘇村三市町村の約150軒の受け入れ農家の方々と共に、下記の17校2,552名の中、高校生の受け入れを行いました。

香川大教育学部付属坂出中(香川県)	117名	伊丹市立松崎中(兵庫県)	219名
クラーク記念国際高校横浜(神奈川県)	134名	神戸市立大原中(兵庫県)	257名
坂出市立白峰中(香川県)	158名	多度津町立多度津中(香川県)	158名
坂出東部中(香川県)	92名	大阪市立大淀中(大阪府)	96名
市立坂出中(香川県)	136名	神戸市立吉田中(兵庫県)	76名
高砂市立鹿島中(香川県)	134名	三豊市立詫間中(岡山県)	98名
関東学院六浦高校(神奈川県)	45名	恩納村立仲泊中(沖縄県)	32名
倉敷市立福田南中(岡山県)	172名	五日市中(広島県)	292名
広島市立大洲中(広島県)	336名		

(2) 又、子ども農山漁村交流プロジェクトによる小学生の農村民泊受け入れや各種団体からの農村民泊および農業体験など8団体286名の受け入れなどにも取り組みました。

天神小学校 (長崎県)	83名	あそまるごとあそび塾(野外教育研究所) (冬編)	16名
あそまるごとあそび塾 (野外教育研究所) (夏編)	12名	熊本県保険医協会	38名
森林文化協会	14名	森林学習館イベント	62名
同志社大学	34名	台湾学生	27名

(3) 又、草原再生協議会の草原学習小委員会や阿蘇青少年交流の家、RKKなどと連携し、阿蘇地域内外の小学生を対象とした野焼き体験や草原環境学習事業などにも取り組んできました。

桜木中輪地切り体験	197人	RKK 輪地切り体験	30人
阿蘇青少年交流の家草原キッズ野焼き体験	小学校5校		130人
RKK 野焼き体験	40人		

(4) ゆたっと村でも下記の様な各種体験企画を実施しました。

干し柿作り、竹はし作り、もちつき、どんどこや、こんにやく作り
椎茸こま打ち体験、ドラム缶風呂体験

単位 円

自然体験・農業体験学習事業(公2)	予算額	決算額	差額
農業・農村体験修学旅行受け入れ事業収入	7,500,000	7,315,820	-184,180
環境教育事業収入	800,000	459,790	-340,210
ゆたっと村体験事業収入	350,000	684,628	334,628
コーディネーター確保事業収入(ふるさと雇用基金)	2,760,000	2,760,450	450
事業収益合計	11,410,000	11,220,688	-189,312
雑収入(損害保険金、水田所得補償交付金等)	0	511,612	511,612

3、調査・研究事業(公3)

今年度は下記の二つの調査事業に取り組んできました。

(1) 地域生物多様性保全実証事業

環境省からの助成事業

決算額 2,997,685円 (予算額 2,999,000円)

(2) 阿蘇市・ASO環境共生基金からの助成事業

決算額 1,744,000円 (予算額 1,740,000円)

(3) 調査・研究事業収益合計

決算額 4,741,685 円 (予算額 4,739,000 円)

4、あか牛オーナー事業 (収1)

今年度は、肥後銀行役職員の皆さんでの団体方式 (1頭に4~6人のオーナー) によるまとまった参加申し込みがあり、年度当初38頭のオーナー牛が一举に86頭のオーナー牛に拡大、あか牛肉等の事業高も予算を大幅に上回りました。

会費収入 決算額 540,200 円 (予算額 70,000 円)

事業収入 決算額 4,994,385 円 (予算額 2,100,000 円)

5、食事提供及び農産物の販売等事業 (収2)

椎茸、竹の子、ブルーベリー、栗の収穫をし販売しましたが、野菜などは天候の関係で収穫販売には至りませんでした。また、地元の中学校などによるバーベキューの事業や、ゆるっと博の関係で宿泊などもあり、年間で1,649,763円の事業収入がありました。(予算額1,900,000円)

6、受託調査事業 (収3)

今年度は環境省や県などから、下記のような調査事業を受託し、取り組んできました。

(1) 草原再生基礎調査 (熊本県)

受託金額 3,950,000 円 (予算額 3,950,000 円)

阿蘇郡市及び旧蘇陽町に於ける172牧野の実態調査と今後の草原保全再生に向けた課題、問題点等の抽出

事業期間 6月 ~ 9月上旬

(2) 阿蘇草原再生野草地環境保全計画調査 (環境省)

受託金額 6,050,000 円 (予算額 6,000,000 円)

阿蘇地域の三つの牧野組合の管理及び利用状況の歴史と現状の調査、並びに希少植物・昆虫・動物等の生息分布調査と植生調査、今後の維持・管理計画の策定

事業期間 7月 ~ 2012年2月末

(3) 雑収入 決算額 0 円 (予算額 400,000 円)

7、経常収益計

決算額 70,145,007 円 (予算額 64,999,000 円) 差額 5,146,007 円

8、事業費について

事業費の主な費目の決算額は下記の通りとなっています。

単位 円

	費目	予算額	決算額	差額	内容
1	人件費	25,276,000	25,226,047	△49,953	ほぼ予算通り
2	福利厚生費	3,147,000	2,842,999	△304,001	引き落とし日の関係で1か月分未計上のため
3	売上原価	2,700,000	4,582,734	1,882,734	あか牛オーナーの売り上げ増のため
4	旅費交通費	4,160,000	4,569,844	409,844	人員増と活動活発化のため
5	通信運搬費	1,700,000	1,887,349	187,349	〃 〃
6	消耗品費	1,750,000	3,166,014	1,416,014	貯蔵品と小額備品消耗品として計上したため
7	水道光熱費	520,000	595,098	75,098	灯油の値上がり他
8	租税公課	1,100,000	1,525,215	425,215	事業高が増えたため
9	減価償却費	2,450,000	2,210,188	239,812	耐用年数の計算違い
10	印刷費	2,300,000	2,093,678	206,322	新しいパンフレット2012年度に
11	外注費	12,940,000	13,618,007	678,007	事業高が増えたため
12	賃借料	1,038,000	1,238,470	200,470	机、パソコンレンタル料
13	車輛費	500,000	578,739	78,739	GSコーポの車輛借上げ費
14	雑費	2,000,000	2,175,895	175,895	森づくりバーベキュー食材代等
	経常費用計	64,351,000	69,189,943	4,838,943	

II. 2011 年度収支報告

別添報告書（案）を御参照下さい。

資料②